

## 「潜在保育士復職支援プロジェクト」



## 第2回 保育研修を開催。その模様を山陽放送が取材し、11月4日にテレビ放送されました。

本学は岡山県から業務委託を受け、「潜在保育士復職支援プロジェクト」を行っております。さる、10月23日に「2015年度 第2回 現場で役立つ保育技能研修会」を開催し、十数名の方が参加してくださいました。潜在保育士とは、保育士の資格を持ちながらその資格を生かした職に就いていない方のことです。この研修はそのような方が保育士として復職する際の支援事業の一つとして行いました。今回の研修内容は次の通りでした。

1 限目：山陽学園短期大学 幼児教育学科 教授 皆川順先生「集団に入れない子どもについて」、2 限目：山陽学園大学 生活心理学科 准教授 上地玲子先生・同学科 准教授 松浦美晴先生「支援が必要な子どもとその保護者の対応について」 3 限目：山陽学園短期大学 非常勤講師 大山史子先生「簡単な音やリズムで楽器を楽しもう」 4 限目：座談会形式による情報交換会と個別相談

この取り組みや昨年卒業生に行った調査結果、そして本学の授業風景が山陽放送の「RSK 地域スペシャル メッセージ」という番組で11月4日に放送されました！

1 限目 皆川順先生

「集団に入れない子どもについて」



2 限目 上地玲子先生・松浦美晴先生

「支援が必要な子どもとその保護者の対応について」



3 限目 大山史子先生

「簡単な音やリズムで楽器を楽しもう」



講義の後、すぐに使える支援ツールを製作

参加して下さった方々の感想です。とても充実した時間を過ごされたことがうかがえました…。

\*まず体に力を入れてから、リラックスさせる方法を知ったのは初めてなので実践したいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

\*支援の必要な子どもへの対応、問題行動への寄り添い方などとても勉強になった。先生の実体験からのことはとても共感できる。支援ツールもほかのことにも使用目的が多々あると感じ使いそうでした。

\*実際に楽器を扱って、短時間ながらも合奏まで取り組むことができ、とても楽しく学ぶことができました。もう少し長い時間をかけて、学べるようにしてもらいたいくらい楽しかったです。